

あなたの関心ワード「子ども」に対して
人文学部 地域包括支援学科 の先生からの夢ナビ講義です。

夢ナビマイページで
先生の講義動画が
視聴できます！



子育てを支援する公的サービス

3世代同居から核家族へ

少子化によって子育てはどのように変化しているのでしょうか。以前ならば、祖父母、親、子どもの3世代が一緒に生活していました。子育ては祖父母から教わり、親が仕事で忙しい場合は祖父母が子どもの世話をしていました。そのため、子どもが多くても子育てに対応できました。ところが核家族化が進み、子育てを親だけが行う家族が増えました。祖父母に頼れないため、子育てに関する情報を得たり、子どもの養育を家族外の子育て支援サービスに頼るようになっていきます。ただ、身近な相談相手がいないため、親の不安が解消されにくくなっています。

核家族の子育ての問題点

このように子育てに悩む親に対しては、行政がさまざまな子育て支援サービスを提供しています。産前産後の親には、子どもが健康に成長するようなサポートがあります。また、悩みを抱える親の相談に応じ、同じ悩みをもつ親同士の交流の場を設けるなど、解決の手助けをしています。ただ、子どもが育つ環境は時代とともに変化をしています。核家族化に加え、ゲームなどで遊び、塾に行くことが増えるなど、交友の範囲が限られ、社会性を身につけにくくなっています。親にゆとりがなくなりがちな分、保育園や幼稚園、学校には、以前は家庭や地域社会で担っていた子どものしつけまで任されるため、負担が増えているのが現状です。



貧困家族への対策

子育てに関わる問題で、現在特に深刻なのは「貧困」です。教育費の負担が増え、非正規で働く親も増えているため、子育てを行う経済的な余裕がない家庭が増えています。貧困家庭に対しては生活保護制度がありますが、受給要件が厳しく、受けられない家庭もあります。そのような家庭には市町村が支援を行い、進学については学費を免除する制度などで、「貧困の再生産」が起こることを防いでいます。

それでも、子育てのさまざまな問題に対するこれらの公的サービスは、十分に利用・運用されているとはいえません。その周知に力を入れるとともに、問題を抱える家庭を早期に発見し対応することが重要です。

この講義の学問分野 ▶ ②⑩ 社会福祉学／⑤⑦ 保健・福祉学



私が回答しました！

長崎純心大学
人文学部 地域包括支援学科
准教授 尾里 育士 先生



多くの高校生は保護者からの支援を受けて生活しています。しかし、大学生になったら社会に出たときのことを考え、子どもの育ちを支える側に立ってほしいと思います。その際、参考になるのは、自分がこれまでどのように育ってきたかを考えることです。児童福祉や社会福祉は、子どもや高齢者、障がい者に対して、まさにその視点で何ができるかを考える学問です。社会福祉施設などで実習をすることで、自らの育ちの過程や支援の重要性を実際に感じるができます。そんな体験を通して、あなたが成長していくことを楽しみにしています。

長崎純心大学 (長崎県) に興味を持ったら

カトリシズムの精神に基づく「知恵のみちを歩み 人と世界に奉仕する」ことをモットーとしているカトリック大学です。2018年度は人文学部5学科を3学科に再編しました。2019年度からは全学科で男子学生を受け入れます。国際コミュニケーションや福祉・心理、保育・教育の専門知識を生かして活躍し、新しい時代を担う人材を育む学びの環境がいつそう進化します。このキャンパスの4年間の学びは、きっと「あなた」と「素敵な未来」をつなぐ力となるはずです。

あなたの関心ワード「子ども」に対して
健康発達学部 こども学科 の先生からの夢ナビ講義です。

一つではない答えの探究 ～保育の面白さとミリョク～

正解は一つではないのです

高校生までは、試験などでたった一つの答えを求められることが多いと思います。しかし、保育は正解が一つではありません。それが保育の面白さの一つともいえるでしょう。例えば、一つのモノを2人の子どもが取り合っていたとします。あなたならどのように対応しますか。「じゃんけんで決める」「話し合って決める」「順番に使う」、そうですね、どれも間違いではないように思います。では、じゃんけんは何歳ぐらいからできるようになるのでしょうか。「譲り合う」「がまんする」ことは、いつごろから求められるようになるのでしょうか。時には、子どもたちがどのように解決するのか見守りながら「放っておく」ことが正解の時もありそうです。保育の正解は一つではありませんが、保育の学びを深め、子どもの年齢に応じた育ちや興味関心などがわかっていると、より一人ひとりにあった対応ができるのです。



子どものモデルとしての保育者

子どもは親を映す鏡といわれますが、保育者にも同じことが言えます。泣いている子どもへの対応、困っている人への言葉がけ、来訪者への挨拶など、子どもは周囲の大人を見て社会性を身に付けていきます。そのため保育者にはモデルとしての役割も求められるのです。

協働で作り上げる保育

現在進められている研究の一つに「保育者の継続的就業を支える要因」に関するものがあります。その調査の中で、過去5年間の早期離職者がゼロの保育所・幼稚園・認定こども園で調査を行い、「辞めない理由」を探りました。すると、早期離職者のいない園では保育者の意思を尊重しており、失敗してしまった場合も周りがフォローする環境が整っていることがわかりました。保育現場では子どもの個性を大切にしよう謳われていますが、保育者の個性がないがしろにされる場面も見られます。園長や保育者がお互いに尊重しあえる園では、継続的就業が支えられていることがわかりました。保育者自身の個性が発揮され、協働で作り上げていくことも保育のミリョクの一つといえるでしょう。

この講義の学問分野 ▶▶ ⑪教育／⑩児童学



私が回答しました！

長野県立大学
健康発達学部 こども学科
准教授 渡邊 望 先生



赤ちゃんの笑顔を見ると自分も笑顔になれるように、子どもと保育には人を引きつける力があります。子どもの笑顔を増やしていくための工夫がたくさんできることが、保育者のやりがいのひとつです。あなたが考えている以上に保育は豊かで魅力的だといえます。保育学の知識を身に付け、実習現場で経験を積むことで、まだ知らなかった保育のおもしろさに気づくことができるはずです。ぜひ一緒に、子どもを捉える視点や育ちの道筋など、保育を探るためのヒントを複合的に学んでいきましょう。



長野県立大学（長野県）
に興味を持ったなら

長野県立大学は、2018年4月に長野市に開学した県立大学です。
グローバルな視野を持って未来を切り拓き、イノベーションを起こし、新たな価値を創出する“地域のリーダー”となる人材を育成しています。
グローバルマネジメント学部（グローバルマネジメント学科）と健康発達学部（食健康学科、こども学科）の2学部3学科を置いています。大学の特長としては、1年次全寮制、2年次全員参加海外プログラム、少人数教育があげられ、3～4年次にはアクティブラーニングで専門分野の知識を深めます。

あなたの関心ワード「子ども」に対して
総合人間科学部 教育学科 の先生からの夢ナビ講義です。

夢ナビマイページで
先生の講義動画が
視聴できるよ！



世界中のすべての子どもたちが、適切な教育を受けるために

教育を受けていない子どもは世界で約6000万人

義務教育として全員が小学校、中学校に行き、約97%が高校に進学、大学進学率も50%を超えている日本に住んでいると信じがたいかもしれませんが、世界では開発途上国や紛争後地域を中心に、満足な教育を受けられない国や地域がたくさんあります。

1990年、タイのジョムティエンで、ユネスコ、ユニセフ、世界銀行、国連開発計画の主催により「万人のための教育（EFA）世界会議」が開催され、2015年までにすべての子どもが教育を受けられるようにしようという運動が起きましたが、実際はまだ約6000万人の子どもたちが教育を受けていないということがわかっています。

世界が開発途上国の教育をサポート

現在、開発途上国では国際協力の一環として、国連や各国政府機関、NGO（非政府組織）が主体となってさまざまなサポートが行われています。学校を建てたり、教員を養成したりするなどで、教育環境はよくなっています。日本もこうしたサポートに参加しており、将来、あなたも希望すれば、JICAが募集する青年海外協力隊などに参加して、開発途上国の教育に携わることができるかもしれません。教育は人々に自信と自立した生活を与え、平和につながっていくと期待されています。



一筋縄ではいかない開発途上国の教育

しかし、一方で教育を行ったために、人々の憎悪が増えたり、対立を生むケースもあります。教育の中身に暴力的な内容が含まれていたり、特定の民族に対してのみ教育を与えるなどの差別をしている地域もあります。いうまでもなく、このような教育はあってはならないですが、実際の教育現場で依然として起こっているのです。

多くの開発途上国では、「多文化共生」「貧困」「格差」などの課題と教育は密接に関係していると考えられます。こうした課題に応える教育とその支援のあり方を考えるすべての人が平等、公平な教育を受けられる環境を作ることが、国際教育開発を研究する人たちの大きなテーマとなっています。

この講義の学問分野 ▶ ⑥文化・教養学／⑪教育／⑲社会学／⑳社会福祉学

私が回答しました！

上智大学

総合人間科学部 教育学科
教授 小松 太郎 先生



私が研究している国際教育開発は、開発途上国の教育問題を考える学問です。ひとくちに開発途上国といっても、歴史や文化、経済レベルが異なっています。一方で、多くの国では、極端な貧困、格差、安全、多文化共生といった共通の課題を抱えています。こういった課題に教育政策、教育行政制度、カリキュラムなどがいかに応えられるのか、また国際社会がいかに支援できるのかを考えていきます。教育問題をグローバルに考えたい、将来、国際教育協力を携わりたいと考えているあなたに、ぜひ学んでほしいと思います。



上智大学（東京都）
に興味を持ったら

上智大学は日本初のカトリック大学として開学し、創立当初から国際性豊かな大学として、外国語教育に重点を置いてきました。留学制度も充実しており、世界35ヶ国に140校にも及ぶ交換留学協定校をもち、毎年約200人の学生が世界各国へ交換留学しています。また、少人数教育も本学の伝統のひとつです。教員と学生の距離が近く、また学生同士が率直に意見を交し合う、きわめて理想的な教育環境が整っています。他者を思いやり、社会に奉仕できる人材を育成します。